

鳥獣被害防止総合支援事業及び鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和4年度報告)

1 被害防止計画の特徴等

ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、カラス、ヌートリア、イノシシ、カワウを対象としており、集落ぐるみの侵入防止柵の設置等の取組を実施する。
また、捕獲については、平成24年度に設置した鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣捕獲を積極的に実施する。

2 事業効果の発現状況

銃器による捕獲に加え、農作物被害等が著しい地域においては、くりわな、はこわなによる捕獲を併用。ニホンジカ、ニホンザルについては捕獲頭数は減少傾向にあるが、イノシシについては令和4年度再び増加傾向に至っている。
また、狩猟免許取得を推進し、鳥獣被害対策実施隊員の確保に努めるとともに、捕獲体制及び捕獲機材の整備に取り組んだ。

3 被害防止計画の目標達成状況

ニホンジカ、ニホンザルは軽減されているが、カラスは増加となった。イノシシ、ヌートリアは被害金額は軽減されているものの、被害面積については増加傾向にある。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

| 事業実施主体名 (構成市町名) | 対象地域 | 実施年度 | 対象鳥獣 | 事業内容 | 事業量 | 管理主体 | 供用開始 | 利用率・稼働率 | 事業効果 | 被害防止計画の目標と実績 | | | | | | 事業実施主体の評価 | 第三者の意見 |
|--------------------|-----------|------|-------|------------|------|------|------|---------|---|--------------|-----|--------|---------|-----|--------|--|---|
| | | | | | | | | | | 被害金額(万円) | | | 被害面積(a) | | | | |
| | | | | | | | | | | 目標値 | 実績値 | 達成率 | 目標値 | 実績値 | 達成率 | | |
| 土庄町 | 土庄町 全域 | 2 | イノシシ | 緊急捕獲活動支援事業 | 664頭 | - | - | - | 猟友会、関係団体等と連携し、被害防止対策を継続して実施している。 捕獲技術の向上や捕獲に使用するわなの増設が図られた結果、3か年平均1,022頭の鳥獣害捕獲が行われた。 令和4年度は再びイノシシ捕獲頭数が増加に転じている。 今後も継続した捕獲を実施することで、農地の被害防止に繋げていく。 | 848 | 468 | 282.7% | 466 | 383 | 174.1% | 被害防止計画で掲げた目標値に対しては達成となるが、未だに農作物被害は後を絶たない。 ニホンジカについては一定の成果が得られていると見られるが、イノシシについては令和4年度被害面積が増加傾向にある。 ワイヤーマッシュ柵や電気柵の設置に対する補助も併せて実施していることから、予防策に加え、捕獲を継続的に行うことで、農地の保護を図っていく。 | 集落環境の改善、侵入防止柵の設置、効果的な捕獲による総合的な被害防止対策を継続してほしい。(香川県農政水産部農業経営課 主任 専門指導員(鳥獣害) 矢木聖敏) |
| | | | ニホンザル | | 23頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニホンジカ | | 309頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | 3 | イノシシ | | 640頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニホンザル | | 18頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニホンジカ | | 232頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | 4 | イノシシ | | 970頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニホンザル | | 6頭 | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニホンジカ | | 206頭 | | | | | | | | | | | | |

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。

2:業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。

3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。